

HPからもアーシャの活動詳細を
ご覧いただけます。

<http://www.ashaasia.org>

インドでの支援活動につきましては
ウツタールプラデシュ州アラハバードでの
サム・ヒッキンボトム農工科学大学
継続教育学部の活動を
アーシャ派遣職員がブログでお伝えしています。

<http://ccnfe.exblog.jp>

インドハーブ入浴剤 販売中！！



ニームの葉、レモングラス、バラを乾燥させ、

ヒマラヤ岩塩を加えました。

寸の青年・女性がひとつひとつ丁寧に作り上げたハーブ入浴剤です。

詳細はHPをご覧ください。

会員募集のお知らせ

私たちの活動を支援して下さる会員を募集しています。

会費

正会員	1口	¥5,000
賛助会員	1口	¥3,000
正会員(団体)	1口	¥20,000
賛助会員(団体)	1口	¥10,000
終身個人正会員		¥50,000
終身団体正会員		¥100,000
終身個人賛助会員		¥30,000
終身団体賛助会員		¥50,000

郵便振替口座番号 00160 - 0 - 315147

口座名義 アーシャ=アジアの農民と歩む会

ご寄付も随時受け付けております。

会員の方には、会報誌(年4回発行)が送られます。

各種報告会、セミナーの案内、インドを訪ねる旅へのお誘いがあります。

NPO法人

アーシャ=アジアの農民と歩む会

〒324-0028 栃木県大田原市富士見1-3828-70

Tel/Fax: 0287 (24)1126

Email: ashahonbu@ashaasia.org

HP: <http://www.ashaasia.org>

NPO法人

アーシャ=アジアの農民と歩む会



~より持続可能に

より女性の参加を

より子どもに希望と教育を~

～ 設立趣旨・本会の目的～

本会理事長 牧野一穂は北インドU.P州サム・ヒッキンボトム農工科学大学 (Sam Higginbottom Institute of Agriculture, Technology & Sciences 前アラハバート農業大学) 継続教育学部の学部長として、過去40年以上に及び農村の生活向上のために尽力を果たしてきました。

牧野の退職を機として更なる農村開発の継続発展のために、2004年5月、田村嘉應前理事長を中心に特定非営利活動法人「アーシャ=アジアの農民と歩む会」として本会は設立されました。

現在では三浦照男学部長のもと、持続可能な農業の普及、貧困家庭の子ども・女性・青年のための教育支援、農村青年・女性リーダーの育成、女性の地位の向上、栄養・母子保健改善、収入向上などに関する事業を展開しています。



～ 国内での取り組み～

本会は、地方の市民参加を促進しながら活動を進めるために栃木県内に事務所を設けています。毎年5月下旬に行われる報告会と、市民向けのセミナーや講演会を開催しています。また北インドスタディーツアーも随時企画しています。

これらの活動を通じ、日本の方々にインド農村地域の現状を知っていただくとともに、日本国内における開発教育、市民教育、国際協力に貢献したいと考えています。

主な講演内容)

- ・サム・ヒッキンボトム農工科学大学継続教育学部の農村・農業開発の取り組み
- ・インド、周辺諸国の農村地域の現状
- ・発展途上国の農村地域における開発とは

「よ！持続可能に よ！女性の参加を よ！子どもに希望と教育を」農村で働く人づくりのために活動しています

よ！持続可能に・・・

インド、アラハバートにあるサム・ヒッキンボトム農工科学大学継続教育学部を中心に持続可能な社会構築のための有機農業普及の活動を行っています。



収入向上のための食品加工に取り組む農村の人々

農村指導者育成

“Learning By Doing” をモットーとして農場での実践的な取り組みを通じた1カ月の長期農業研修を毎年実施しています。農業だけでなく養鶏から食品加工・販売、保健衛生など幅広い分野における日本人スタッフ及び短期専門家を日本から派遣しています。



よ！女性の参加を・・・

SHG (小規模自助組織)の活動

農村組織形成を通して女性たちの活力ある社会参加を促し、地位向上を支援しています。



保健衛生普及事業

農村での母乳育児支援や幼児の栄養改善プログラムなど、母親と子どもが、よ！健康に生活できる活動を支援しています。



女性相互自助組織の活動風景

村での定期健康診断の様子

よ！子どもに希望と教育を・・・



環境教育クラスの様子



アーシャ学校カンジャサ校

農村教育普及支援

初等教育を中心としたアーシャ希望学校の設立・運営を支援しています。アラハバート県内の農村に9校、約700名の児童が学んでいます。農村教師の育成、環境教育などのカリキュラム支援・助言活動も行っています。